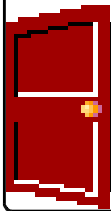


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

N o 65

桑村小学校令和5年11月1日 文責 渡邊

函南町立図書館「知恵の和館」に行ってきました!!

10月28日(土)の午後に、函南町立図書館「知恵の和館」に行ってきました。

この日はとても天気がよく、駐車場に乗用車を止め図書館に向かおうとしたとき、本校の保護者の方から声を掛けられました。その方は、お子さんとともに図書館に行き、ちょうど帰るときに私に気づいたとのことでした。

声を掛けていただいてとても嬉しく感じるとともに、町立図書館を親子で利用していることにも幸せな思いになりました。

さて、今日、私が函南町立図書館に出向いた大きな理由は、10月28日(土)より町内小・中学生による「読書郵便」と「本の帯」の展示が始まったからです。

それぞれの小学生、中学生の作品を拝見し、どの作品からも「読書が大好き」という思いが感じられてきました。



【町内小学生の作品】



【桑村小児童の作品①】



【桑村小児童の作品②】



【町内中学生の作品①】



【町内中学生の作品②】



【町内中学生の作品③】

中学校の紹介ボードには、「読書記録で感性をみがこう！」というタイトルで、『読書のまち・かなみ』を実現していくために、読書記録を活用して豊かな心と生きる力の育成を目指していきましょう！」と書かれていました。

これは、今回の「読書郵便」や「本の帯」を作成する活動にも、「表現」という点で通じるものがあります。読書から感じたことを自分なりに表現する活動は、自分の持っている感性をより豊かにしていくのではないのでしょうか。

小学校と中学校において、読書と表現をつなぐ活動を継続して行っていくことは、函南町の子供たちの豊かな感性の育成に大きな効果があるのではないのかと期待しています。